

製品評価技術基盤機構施設整備事業

令和6年度概算要求額 6.0億円（新規）

事業の内容

事業目的

工業製品等に関する技術上の評価等を行うとともに、工業製品等の品質に関する情報の収集、評価、整理及び提供等を行うことにより、工業製品等の品質の向上、安全性の確保及び取引の円滑化のための技術的な基盤の整備を図り、もって経済及び産業の発展並びに鉱物資源及びエネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保に資することを目的とする。

事業概要

独立行政法人製品評価技術基盤機構の拠点におけるバイオテクノロジー分野等の関連施設が老朽化しており、温度環境維持、排水処理や電力供給等に問題が生ずれば、高度な試験の実施や高品質な微生物の管理等に影響を与えることが懸念されるため、老朽化が深刻な施設の改修・更新を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

国

補助
10 / 10

独立行政法人
製品評価技術基盤機構

●老朽化した施設の一部



冷却塔 外板の破損
木更津市 設置から20年



全体空調 床材の腐食
木更津市 設置から19年



排水処理設備 配管の腐食
木更津市 設置から20年

成果目標

平成13年度からの継続事業であり、最終的には、経済及び産業の発展並びに鉱物資源及びエネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保を目指す。